

武蔵野ごみ ニュース

～ごみ減量情報紙～

平成26年3月15日

vol.12

発行 | 武蔵野市環境部ごみ総合対策課
住所 | 〒180-0012 武蔵野市緑町3-1-5武蔵野クリーンセンター内
電話 | 0422-60-1802
E-mail | sec-gomitaisaku@city.musashino.lg.jp
ホームページ | <http://www.city.musashino.lg.jp/>

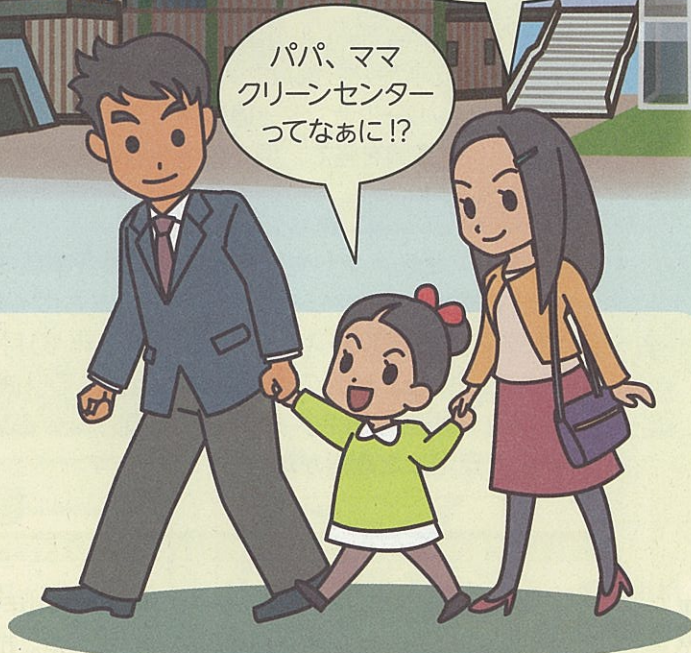
新クリーンセンターの建設に向けて ごみの減量にご協力ください!



新武蔵野クリーンセンター(仮称)イメージ図

武蔵野市では1日約100tの可燃ごみが「武蔵野クリーンセンター」に持ちこまれ、焼却処理されています。このクリーンセンターも稼働開始から今年で30年目を迎え、設備の耐用年数が迫っており、現在、新しい施設「新武蔵野クリーンセンター(仮称)」の建設事業が進行中です。

新施設はごみ減量の計画目標(約30,600t)を前提にした処理能力で建設されます。そのため平成29年4月の稼働開始までに、平成24年度の処理実績(約31,800t)から約1,200tのごみ減量が必要です。限りある資源を大切に、良好な環境を将来世代につなげていくためにも、毎日のごみ減量に一層のご協力をお願いします。

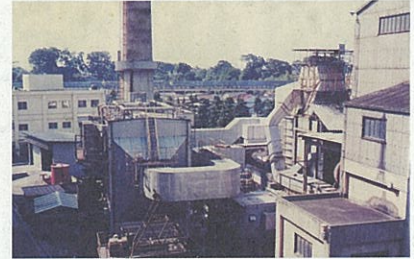


クリーンセンターのあゆみとこれから

武蔵野市の唯一のごみ処理施設「武蔵野クリーンセンター」。全ての市民の生活に欠かせない施設として、周辺住民の方々のご理解とご協力のもと、昭和59年から安全に稼働を続けてきました。そして今、将来を見据え、新しいクリーンセンターの建設事業が始まっています。

昭和20年代

武蔵野市のごみは、昭和20年代、生ごみなどは養豚農家で、その他は市外で埋立処分をしていました。昭和30年に武蔵野市と三鷹市が共同で保健衛生組合を設立。武蔵野市内に伝染病棟を設けるいっぽう、三鷹市新川に「ふじみ焼却場」を建設し、昭和33年から両市のごみ処理を開始しました。



ふじみ焼却場（三鷹市新川）

昭和40年代

昭和40年代、ごみの急増に伴い、ふじみ焼却場の近隣住民から騒音・悪臭などの苦情が多く寄せられるようになりました。その後、焼却場入り口での座り込みによる搬入阻止に発展。当時の後藤市長は武蔵野市内でのごみ処理施設建設を約束しました。



街頭でごみ問題を訴える後藤市長（当時）

昭和50年代

昭和53年、市長はクリーンセンター建設地を市営プール地と発表しましたが、反対運動が強まり、建設地案は凍結。4か所の候補地（市営プール、市営総合グラウンド、都立武蔵野中央公園、都立小金井公園）について市民参加での検討がスタートしました（クリーンセンター建設特別市民委員会）。約10か月間にわたる大議論を経て、現在の場所（市営総合グラウンド）への建設となりました。



クリーンセンター建設特別市民委員会

環境アセスメントや施設仕様など重要事項についても市民参加で検討され（クリーンセンター・まちづくり委員会）、昭和57年から建設がスタート、昭和59年10月に稼働開始しました。以後、地元の住民団体が組織する「武蔵野クリーンセンター運営協議会」と周辺住民の方々のご協力によって、安全で安定した運営が続けられています。



クリーンセンター・まちづくり委員会

平成20年代

平成20年、クリーンセンターの設備の耐用年数を見越して、新しいクリーンセンターの検討に入りました。市民参加による委員会の提言を受け、周辺住民の方々のご理解により、現在の施設の敷地内に新しい施設を建てることになりました。

基本仕様や周辺地域のまちづくりについても市民参加で検討を進め、平成25年11月から建設工事が始まっています。



現在のクリーンセンター

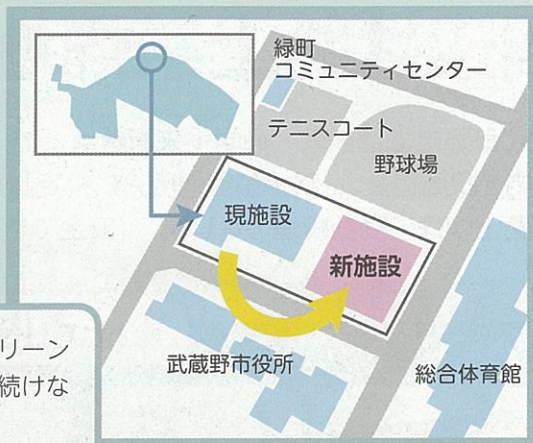
平成29年4月、現クリーンセンターは役割を終え、新しいクリーンセンターにバトンタッチします。その「新武蔵野クリーンセンター(仮称)」の概要をご紹介します。

コンセプト

周辺地域の方々をはじめ、市民にとって誇りになる施設を目指し、環境の保全に配慮した安全・安心な施設づくり、災害に強い施設づくり、景観及び建築デザインなどに配慮したコンパクトな施設づくりなどをコンセプトとしています。

建設地

周辺住民の方々のご理解とご協力により、市役所北側の現クリーンセンター敷地内の東側に新施設を建設します。現施設の運転を続けながら、新施設の建設を安全に進めていきます。



施設概要

敷地面積：17,000㎡ 建物高さ：工場棟約15m、管理棟約10m
 処理能力：焼却施設(ストーカ式焼却炉) 120t/日(60t/日×2炉)
 不燃・粗大ごみ処理施設(破碎・選別方式) 10t/5時間
 発電能力：約15,000MWh/年 事業方式：DBO(デザイン・ビルド・オペレート)方式

プラント(工場設備)

最新鋭の設備を取り入れ、全国で最も厳しい排ガス自主規制値を設定します。

屋上緑化

屋上を緑化し、一部は生ごみ堆肥を使った菜園とします。

外装デザイン

武蔵野の雑木林をイメージしたテラコッタルーバーと緑化により壁面を柔らかく包み込みます。

煙突

現在の煙突を耐震補強し再利用します(図中のデザインはイメージです)。

プラットフォーム(収集車がごみを搬入する場所)を地下化します。

現クリーンセンターの建物は事務所棟などを再利用し、環境啓発施設「エコプラザ(仮称)」として整備します。(平成31年オープン予定)

見学者コース

誰でも自由に見学でき、ごみ処理の流れがわかります。



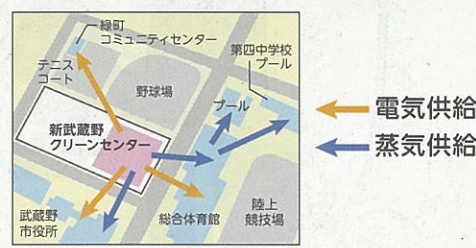
コミュニティスペース(中央通り沿い)

プラットフォームの上部は公開空地とします。イベントもできる市民の憩いの場です。



エネルギーの供給拠点 ～災害に強い施設づくり～

現在のクリーンセンターはごみを燃やした熱で蒸気をつくり市役所や総合体育館、第四中学校プールに送り、冷暖房や温水プールの熱源に活用しています。新施設ではごみ発電設備が加わり、電気も周辺施設に送ります。耐震強度も高め、災害時でも発電・エネルギー供給が可能な災害に強い施設となります。



平成31年、現クリーンセンターの建物の一部を再利用した「エコプラザ(仮称)」がオープンします。環境の学び・啓発の拠点として持続可能な社会づくりを進めます。

市内3駅（吉祥寺・三鷹駅北口・武蔵境） 周辺は路上禁煙地区です。



武蔵野市では通勤・通学・来街者などで人通りが多く、接触事故・受動喫煙・ポイ捨てなどのおそれのある市内3駅周辺を、「路上禁煙地区」に指定し、地域として喫煙マナー向上に取り組んでいます。

路上喫煙・受動喫煙のない街 『安全できれいなまち 健康で気持ちよいまち 武蔵野』にご協力ください。

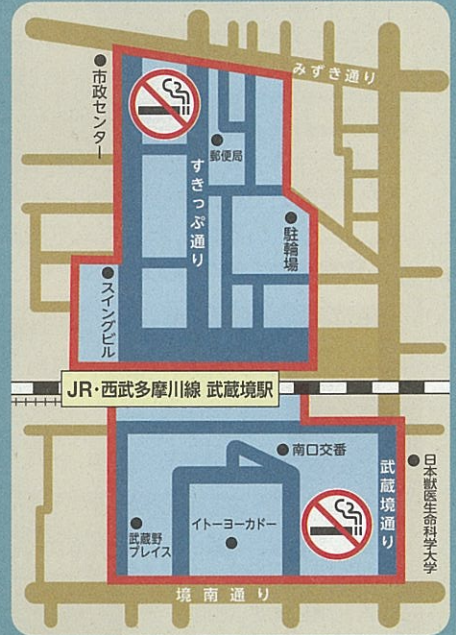
— 市内3駅の路上禁煙地区 —



吉祥寺駅周辺



三鷹駅北口周辺



武蔵境駅周辺

安全できれいな街をめざして、 3駅周辺のマナーポイント（喫煙所）を廃止します。



これまで市では、路上禁煙地区にマナーポイント（喫煙所）を設置し、分煙での喫煙マナー向上を図ってきましたが、マナーポイントのありかたについては、受動喫煙を防止するという観点から多くの意見が寄せられています。

そこで、周辺関係者と今後のマナーポイントのあり方について協議し、多くの方々に気持ちよく武蔵野市に来ていただくためにマナーポイントを廃止することにしました。

吉祥寺駅のマナーポイントは駅前広場整備により2月中に既に撤去されています。三鷹駅北口・武蔵境駅のマナーポイントについては4月1日に終了します。

ご理解ご協力をお願いします。